

超スマート社会実現に おける大学の役割

大阪大学 理事・副学長

八木康史

超スマート社会

IoT

現実世界への働きかけ

ロボット

アクチュエータ

意思決定

ビッグデータ

サービス選択

人や車の行動分析

現実空間

サイバー空間

適切なフィードバックの選択

気象データ

都市シミュレーション

実世界状況の抽出・識別

被災地情報

プローブカー情報

状態の観測

電子タグ

センサ

ネットワーク

SNS

HPC

マイニング

モデリング

アルゴリズム

ストレージ

法整備

インタフェース

観測情報の吸い上げ

クラウド

データベース

プライバシー保護

スパム対策

標準化

人工知能

観測情報の集約・蓄積・解析

超スマート社会とは（政府の見解）



必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といったさまざまな違いを乗り越え、いきいきと快適に暮らすことのできる社会。

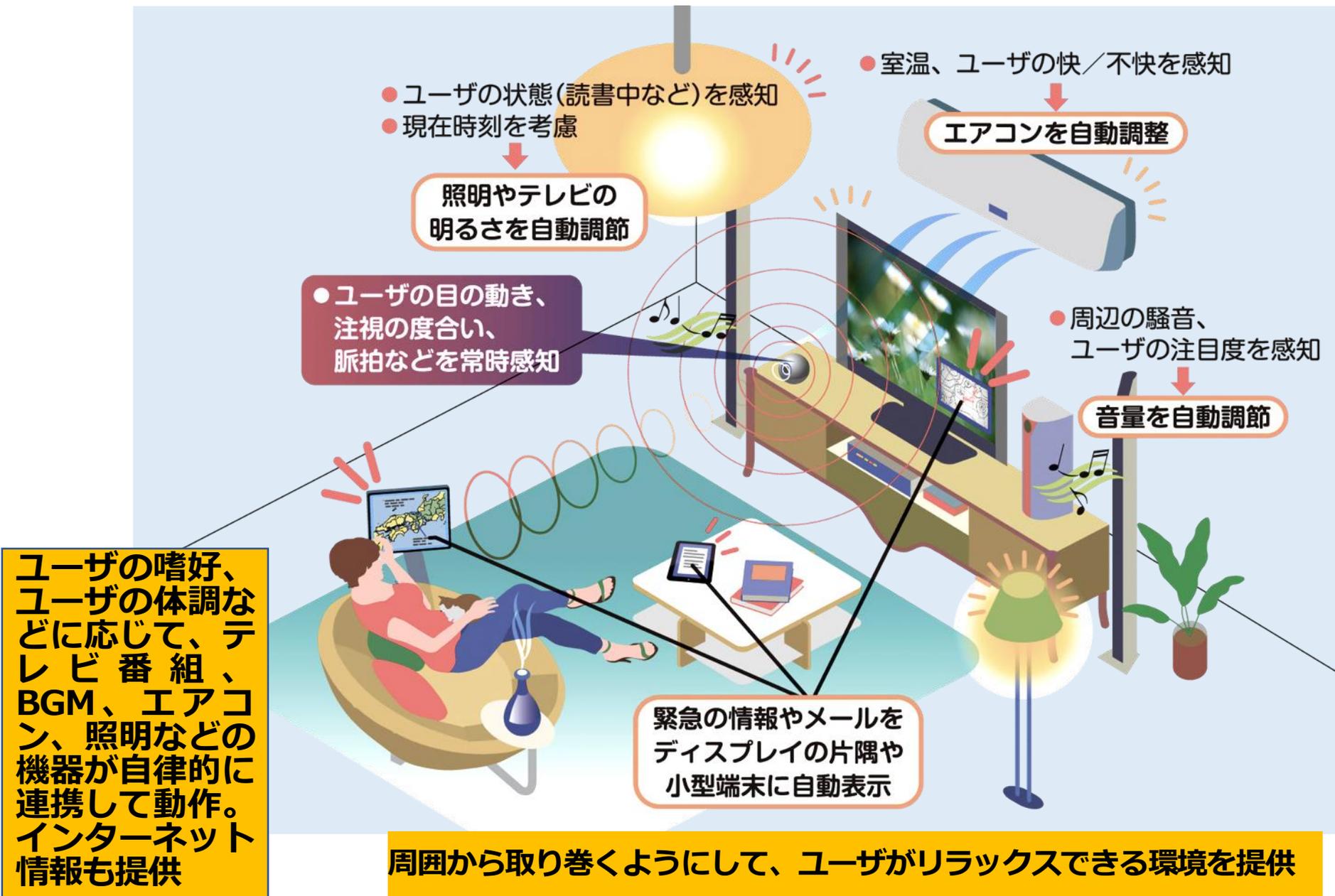
人々に豊かさをもたらすことが期待される。

その実現される社会は、**Society5.0**とも言われている。

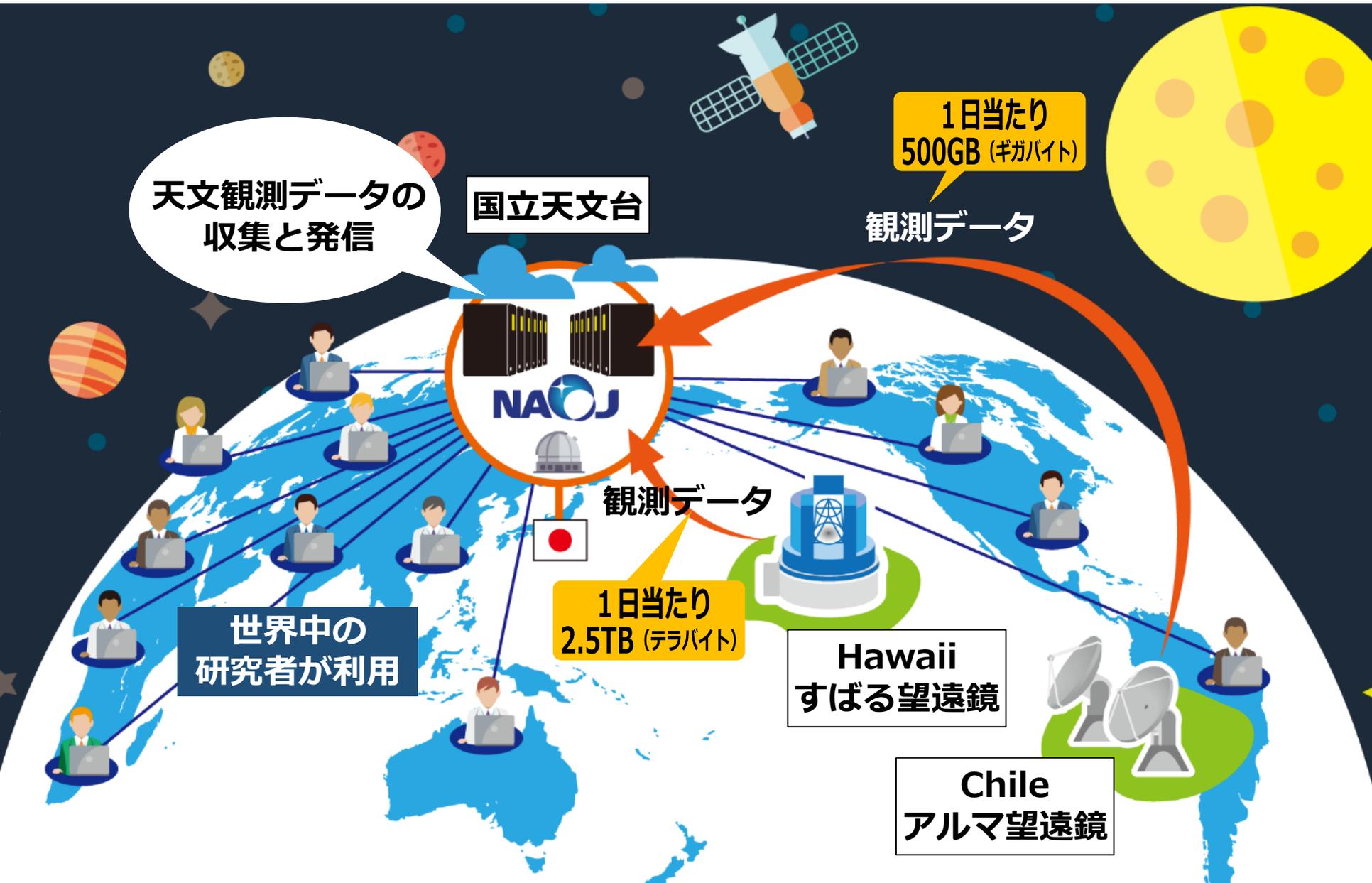
いまだから、ここだから、
あなただから

Society5.0を生み出す変革は、**科学技術イノベーション**が先導

Society5.0 : 未来のリビングルーム



Society5.0 : データ量の爆発



データビリティサイエンス構想

- 様々な学問分野を通じた
データ収集、分析、活用の重要性



- そのための情報基盤技術の高度化
Datability Science



データビリティフロンティア機構
(平成28年4月設置)



大阪大学にある様々な
関連部門の連携、強化による
学際研究推進

Datability is all about the ability to use large volumes of data **sustainably** and **responsibly**.

[CeBlit 2014, held in Hannover, Germany]

データビリティとは、大規模なデータを持続可能かつ責任ある形で活用する能力のことです。

[CeBlit 2014 (ドイツ、ハノーバー) にて提唱]

【sustainable】

- ・ 継続的な対応を可能にするリソース整備
- ・ データ・マネジメント&ガバナンスの確立
- ・ セキュリティ対策

【responsible】

- ・ 社会問題／環境問題の解決(スマートシティ、ヘルスケア、エネルギー活用、経済活動等)
- ・ プライバシー／個人情報の問題

データビリティサイエンティストの養成
データビリエンジニアの養成

データドリブンフロンティア機構

